

令和4年3月吉日

## 新J-BPA構築に関する寄附募集について

近年、我が国で慢性血栓塞栓性肺高血圧症 CTEPH (chronic thromboembolic pulmonary hypertension) 症例に対して肺動脈バルーン形成術 (BPA: balloon pulmonary angioplasty) が行われ、症状、血行動態、生命予後が改善することが報告されていますが、全国での大規模なエビデンスが十分構築されていません。そのため BPA の全国的な治療実態を調査し、手技の効果、安全性のみならず抗凝固療法や肺高血圧症治療薬等の内服薬等の使用についても詳細に解析、検討することが必要です。そのため日本循環器学会を主実施機関として日本呼吸器学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本胸部外科学会が協力し、臨床研究：「CTEPH に対する BPA の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究、主任研究者 小川久雄」(レジストリー名：J-BPA レジストリー) が行われています。J-BPA レジストリー研究は運用資金として 2017 年 4 月より AMED 研究として行っておりますが、2023 年 3 月で一旦終了となります。

今後の国内での BPA の効果的、安全な治療を継続し、より発展するためには BPA レジストリーを継続し、有効性、安全性のエビデンスを継続して発信する責務があります。また日本循環器学会は BPA の指導医、実施医そして実施施設基準を設定しており、本レジストリーの登録がその認定に使用されます。この J-BPA レジストリーは国内施行医および施設を認定し、より BPA および CTEPH 診療を発展させ、安全な BPA を継続して施行し、CTEPH 患者の予後、QOL を改善するためにも必須なレジストリーとなります。

この J-BPA 研究は 2023 年 3 月末 (令和 4 年度末) をもって AMED 研究としては一旦終了することとなっております。日本循環器学会は 2023 年 4 月以降の新しい BPA レジストリーの準備をすすめております。2023 年 4 月以降の患者登録開始に向けて新しい BPA レジストリー (仮; 新 J-BPA) では、J-BPA で得られた知見をもとに新しく収集項目を検討し、新たに電子的臨床検査情報収集 (EDC) システムを 2023 年 3 月 (2022 年度内) までに構築する必要があり、2022 年度上旬には構築を進めたいと考えております。しかし 2022 年度より新 J-BPA を構築し、さらに今後継続する財政基盤が十分ではありません。

つきましては、2023 年 3 月以降開始の J-BPA レジストリーにむけて 2022 年からレジストリー構築を行う趣意に、ご理解、ご賛同賜り、ご支援、ご高配を賜りたく、お願い申し上げます。最後に貴社が本会へ支払う寄附金について、各社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、貴社のホームページ等にて情報公開することに同意いたします。

一社) 日本循環器学会

代表理事 平田 健一

学術委員会委員長 福田 恵一

<問い合わせ先>

一社) 日本循環器学会事務局 学術委員会担当 ([academy@j-circ.or.jp](mailto:academy@j-circ.or.jp))

※本事業の趣旨にご賛同いただけます場合には、上記の問合せ先までご連絡をお願いいたします。また、一口 50 万円からご寄附いただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。